

令和5年度

【令和5年4月～令和6年3月】

西東京市環境白書 環境活動レポート



令和7年3月



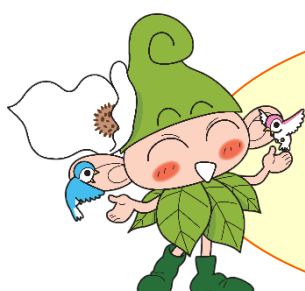
西東京市

目 次

1.環境白書・環境活動レポートについて.....	1
1-1 環境白書・環境活動レポートの役割.....	1
1-2 環境白書・環境活動レポートの構成.....	1
2.関係計画について.....	2
3.環境方針.....	3
4.推進体制.....	4
5.西東京市の概要.....	5
6.西東京市第2次環境基本計画後期計画の取組状況.....	7
基本方針1	7
基本方針2	9
基本方針3	10
基本方針4	11
基本方針5	12
7.市の事務事業から排出される温室効果ガス削減の取組.....	19
8.市の環境に関する取組.....	29
9.市長による全体評価及び今後の取組.....	43

環境白書

環境活動レポート



西東京市マスコットキャラクター

いこいな ©シンエイ/西東京市

自然と生き物のふれあいを守る森の妖精です。

西東京いこいの森公園でみどりや生き物を育てる
お手伝いをしています。

1. 環境白書・環境活動レポートについて

1-1 環境白書・環境活動レポートの役割

令和5年度「西東京市環境白書・環境活動レポート」は、次の4つの役割を果たします。

【環境白書】

- ☆ 「西東京市環境基本条例」第16条に基づき、市域の環境の状況及び環境保全施策の実施状況の公表
- ☆ 「西東京市第2次環境基本計画後期計画」の進捗状況の点検・評価

【環境活動レポート】

- ☆ 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条第1項に基づく「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）」の実施状況の公表
- ☆ 「西東京市環境マネジメントシステム」による市の環境活動の取組状況の報告

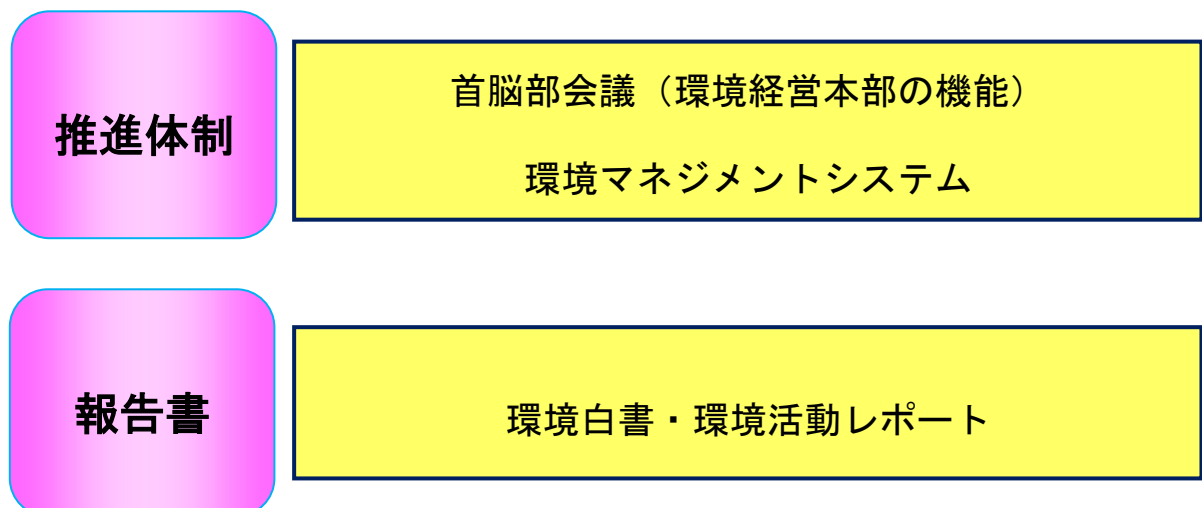
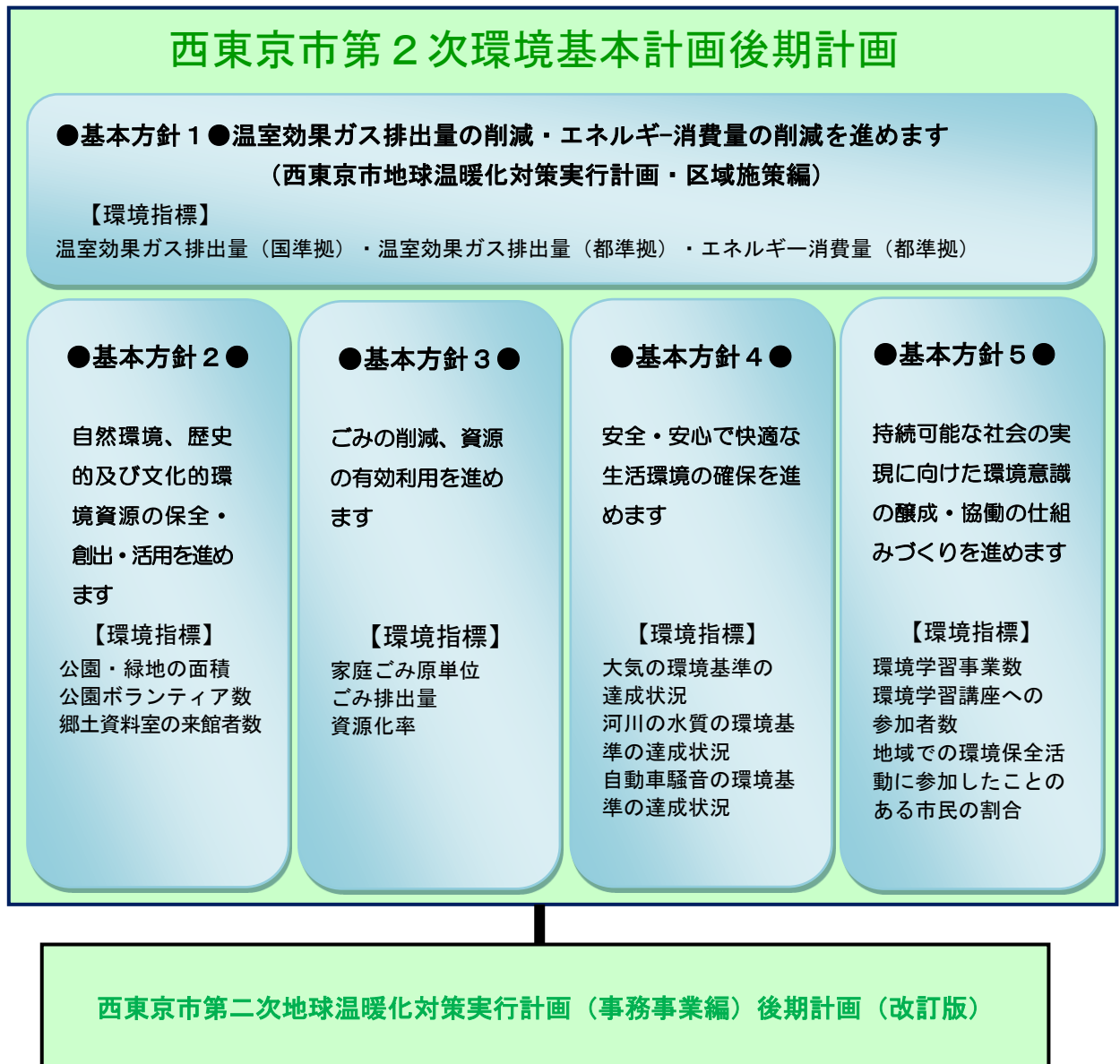
環境白書は、「西東京市第2次環境基本計画後期計画」（以下、「後期計画」という。）に基づく取組状況や環境指標に対する目標の達成状況を点検・評価します。また、西東京市の環境の状況や施策・事業の取組状況を把握し、報告します。平成31（2019）年3月に策定した後期計画は、「西東京市環境基本条例」に基づいて市の環境の保全に関して長期的な目標を定めた「西東京市第2次環境基本計画」（平成26（2014）年3月策定）（以下、「2次計画」という。）策定から5年が経過し、計画の中間見直しの時期を迎えたことを受け、近年の複雑化する様々な環境問題や深刻化する地球温暖化に対し、より効果的な対策を行うため、2次計画を見直し「西東京市地球温暖化対策地域推進計画（平成22（2010）年3月策定）」を「西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編」として新たに包含した他、SDGs（持続可能な開発目標）の目標実現への貢献という視点を加えた計画です。後期計画では、2次計画に引き続き西東京市のめざす環境の将来像を「自然とのふれあいを皆で大切に育む すごしやすい安心なまち 西東京」とし、5つの基本方針とそれらを実現するための指標や取組の方向を設定しています。

また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、令和2（2020）年3月に策定した「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）」では、市のすべての事務事業を対象範囲として、エネルギー起源二酸化炭素の管理（カーボン・マネジメント）を強化しています。

1-2 環境白書・環境活動レポートの構成

前半は、西東京市の環境の現状及び「西東京市第2次環境基本計画後期計画」の環境指標に対する達成状況をまとめた「環境白書」であり、後半は、市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量削減の取組をまとめた「環境活動レポート」となっています。

2.関係計画について



3.環境方針

西東京市環境方針

1 基本理念

地球温暖化の影響と考えられる大型台風、集中豪雨、記録的猛暑などの異常気象は、私たちの生活に多大な影響をもたらすほか、生物多様性の劣化を進めるなど地球規模の環境問題を顕在化させています。この地球温暖化を防止するため、世界的な脱炭素化の潮流が広がる中、西東京市（以下「市」という。）も国際社会の一員として、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指す必要があります。

市は、「西東京市第2次環境基本計画（後期計画）」「西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編」に基づき市内の環境保全に取り組むとともに、2022年2月の「西東京市ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、市民、事業者及び市での脱炭素社会づくりに努めます。

いつまでも元気な地球を守り、きれいな地球を未来の人たちへつなぐため、あらゆる環境問題の改善に継続的に取り組むことで、生物多様性の恵みを受けながら持続的に発展・成長する世界に貢献します。

2 基本方針

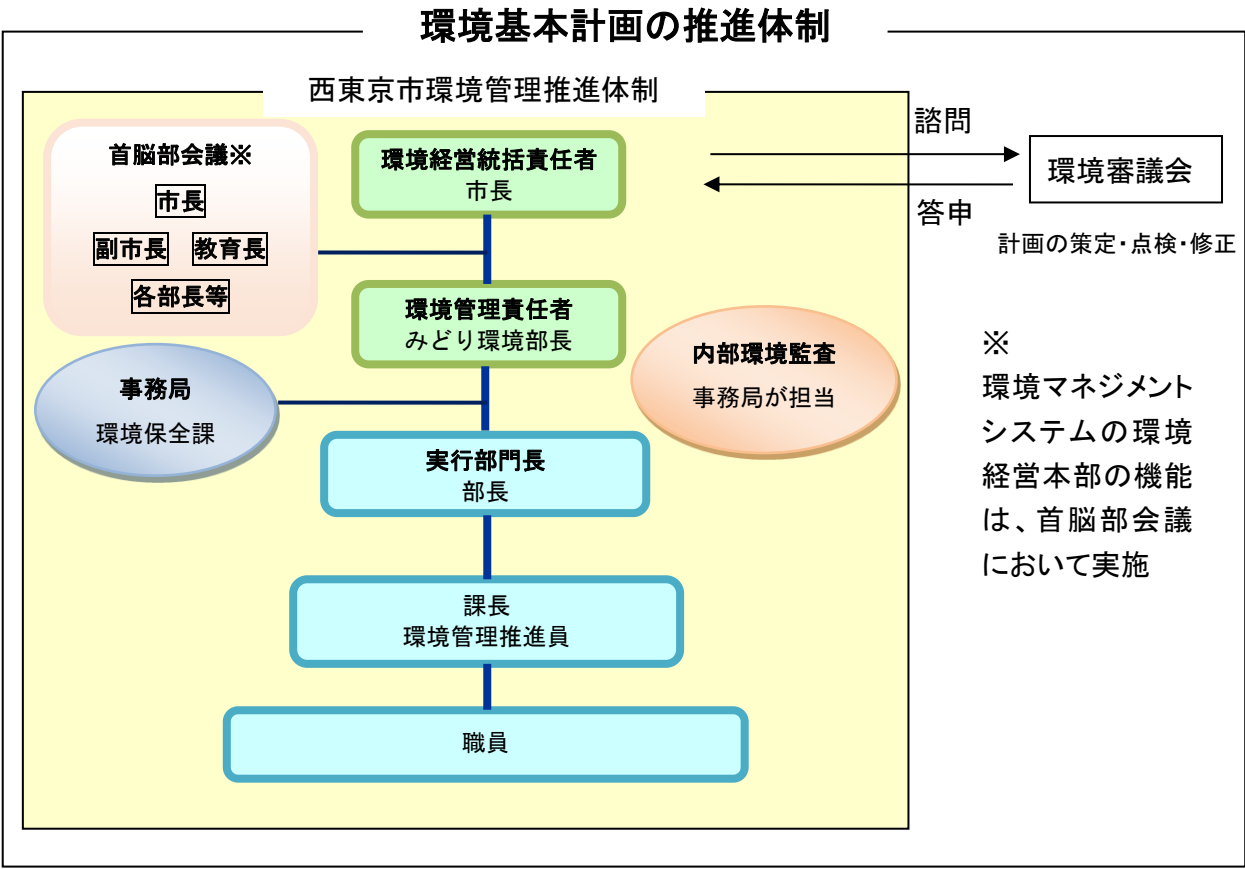
基本理念の実現のため、次の項目に取り組みます。

- (1)市の事務・事業について環境マネジメントシステムにより、PDCAサイクルに基づく継続的改善を図り、温室効果ガスの排出量削減など、環境負荷の低減に努めます。
 - ①市の事務・事業にかかわる全ての活動において、省エネルギー・省資源化に努めること、及び公共施設における再生可能エネルギーの導入を推進します。
 - ②公共工事、委託業務における環境負荷の低減に努めます。
 - ③使い捨てプラスチックの排出を削減するなど廃棄物の減量及びリサイクルを推進します。
 - ④エコドライブの実践、環境に配慮した車の導入を推進します。
 - ⑤物品等の調達時には、グリーン購入基準に基づき、より高い環境性能がある品目を選択します。
 - ⑥職員全員に基本理念を周知するとともに環境情報の提供・研修等を行い、職員の環境保全への意識の向上を図ります。
- (2)二酸化炭素の吸収源となるみどりを保全するとともに新たな創出を行います。
- (3)イベントによる環境に関する情報発信及び啓発とともに、環境学習を推進することで、環境意識の高揚を図ります。
- (4)市域の二酸化炭素削減に資するよう、市民及び事業者への支援に努めます。
- (5)環境白書（環境活動レポート）を作成し、市の活動内容を公表します。
- (6)市の環境状況を把握するため、各種環境測定や監視を継続し、公表します。

令和4年2月21日

西東京市長 池澤 隆史

4.推進体制



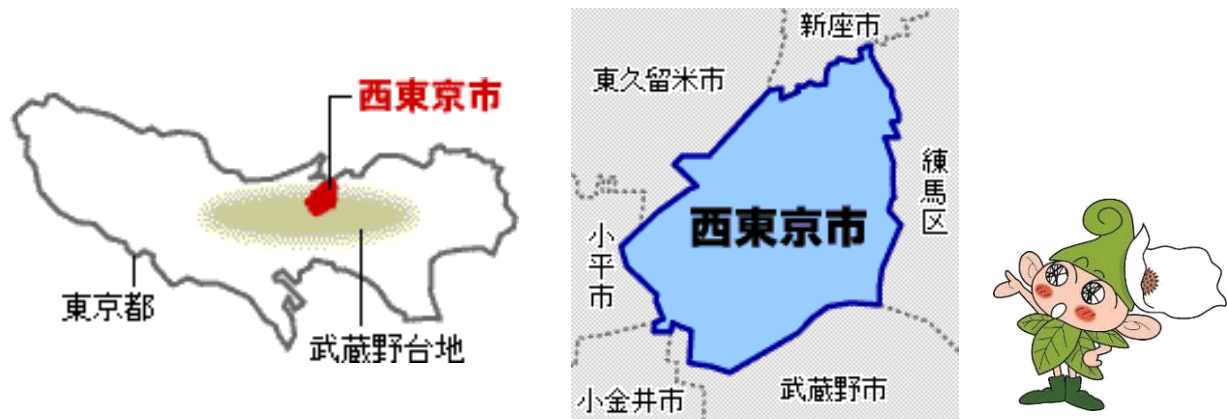
【環境マネジメントシステム対象組織】

全組織が対象範囲となります。

部	課・施設
企画部	企画政策課 財政課 公共施設マネジメント課 秘書広報課 情報推進課
総務部	総務課 職員課 建築営繕課 契約課 危機管理課
市民部	市民課 保険年金課 市民税課 資産税課 納税課
健康福祉部	地域共生課 生活福祉課 高齢者支援課 障害福祉課 健康課
子育て支援部	子育て支援課 幼児教育・保育課 児童青少年課 子ども家庭支援センター 保育園 児童館 学童クラブ
生活文化スポーツ部	文化振興課 スポーツ振興課 産業振興課 協働コミュニティ課
みどり環境部	みどり公園課 環境保全課 ごみ減量推進課
まちづくり部	都市計画課 住宅課 交通課 建築指導課
都市基盤部	道路課 用地課 下水道課
会計管理者	会計課
教育委員会 教育部	教育企画課 学務課 教育指導課 教育支援課 社会教育課 公民館 図書館 市立小中学校
議会事務局	
選挙管理委員会事務局	
監査委員事務局	

5.西東京市の概要

西東京市は、東京都区部の西部地域に隣接し、武蔵野台地のほぼ中央に位置しています。都心から約 20km で、西武新宿線と西武池袋線で都心と結ばれ、市内には5つの駅（田無駅・ひばりヶ丘駅・保谷駅・西武柳沢駅・東伏見駅）があります。都心部とのアクセスが非常に良く、住宅都市として発展してきています。市内の各所に雑木林・屋敷林・農地がみられ、武蔵野の面影が残されています。



《西東京市の概況》

面積	15.75km ²
人口・世帯数 (外国人住民を含む。)	205,737 人 102,342 世帯 (令和6年4月1日現在)

《事業所の概況》

自治体名	西東京市
代表者	市長 池澤 隆史
所在地	東京都西東京市南町五丁目6番13号
令和5年度当初予算額（一般会計）	77,490,000 千円
職員数	1,004 人 (令和5年4月1日現在)

《事業活動の内容》

一般行政事務、保育、教育等市民の日常生活に密接に関係する様々な行政サービスの提供

《環境に関する条例の制定及び計画の策定・環境マネジメントシステムの取組》

	条例の制定及び計画の策定	環境マネジメントシステムの取組
平成 14 年 4 月	環境基本条例制定	
平成 15 年 10 月		I S O 14001 認証取得
平成 16 年 3 月	環境基本計画策定	
平成 17 年 3 月	地球温暖化対策実行計画策定	
平成 18 年 4 月	環境基本条例改正	
平成 18 年 10 月		I S O 14001 更新
平成 20 年 3 月	地球温暖化対策実行計画（後期実行計画）策定 環境配慮行動の指針策定 環境学習基本方針策定	
平成 20 年 7 月		環境方針策定
平成 20 年 8 月		エコアクション 21 運用開始
平成 21 年 3 月	環境基本計画後期計画策定	
平成 21 年 4 月		エコアクション 21 認証取得
平成 22 年 3 月	地球温暖化対策地域推進計画策定	
平成 22 年 6 月		環境方針改訂
平成 23 年 3 月	第二次地球温暖化対策実行計画策定	エコアクション 21 更新
平成 25 年 3 月		エコアクション 21 更新
平成 25 年 9 月		環境方針改訂
平成 26 年 3 月	第 2 次環境基本計画策定	
平成 27 年 3 月		エコアクション 21 更新
平成 28 年 3 月	第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画策定	
平成 29 年 4 月		カーボン・マネジメントシステム導入
平成 31 年 3 月	第 2 次環境基本計画後期計画策定	
令和 2 年 3 月	第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）策定	
令和 4 年 2 月	ゼロカーボンシティ宣言 ゼロカーボンシティガイドライン策定	環境方針改訂
令和 6 年 3 月	第 3 次環境基本計画策定 ※地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、気候変動適応計画を包含 第三次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）策定	

6.西東京市第2次環境基本計画後期計画の取組状況

基本方針1

温室効果ガス排出量の削減・エネルギー消費量の削減を進めます (西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編)

温室効果ガスの排出量及びエネルギー消費量の削減に向け、公共施設において省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの導入利用、二酸化炭素吸収源としてのみどりの保全や再生等を率先して行います。

また、市民や事業者の自主的な取組を後押しし、市民・事業者・市が一体となった取組を進め、低炭素社会の実現を目指します。

一方、避けることが困難であると予想される地球温暖化による様々な影響への適応について、検討を行います。

環境指標	令和12 (2030)年度 目標値	令和3 (2021)年度 実績※	前年度比 (増減率)	令和2 (2020)年度 実績※	担当課
温室効果 ガス排出量 (国準拠)	443 千t-CO ₂ 平成25(2013) 年度比26%減	562千t-CO ₂	17千t-CO ₂ 3.1%	545千t-CO ₂	環境保全課
温室効果 ガス排出量 (都準拠)	360 千t-CO ₂ 平成12(2000) 年度比30%減				
エネルギー 消費量 (都準拠)	4,327TJ 平成12(2000) 年度比38%減	5,634TJ	107TJ 1.9%	5,527TJ	

※オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の公表数値

温室効果ガス排出量の削減目標は、国と東京都に準拠した2つの目標を掲げます。また、温室効果ガスの排出量は排出係数の影響を受けることから、東京都に準拠したエネルギー消費量の削減目標も掲げます。

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」が公表している最新の令和3(2021)年度の数値は、いずれも前年度より増加しております。これは、コロナ禍からの経済回復等とされています。

目標値の達成は厳しい状況となるため、市民、事業者、市が一体となり、徹底した対策を行う必要があります。

【西東京市ゼロカーボンシティガイドラインにおける目標値】

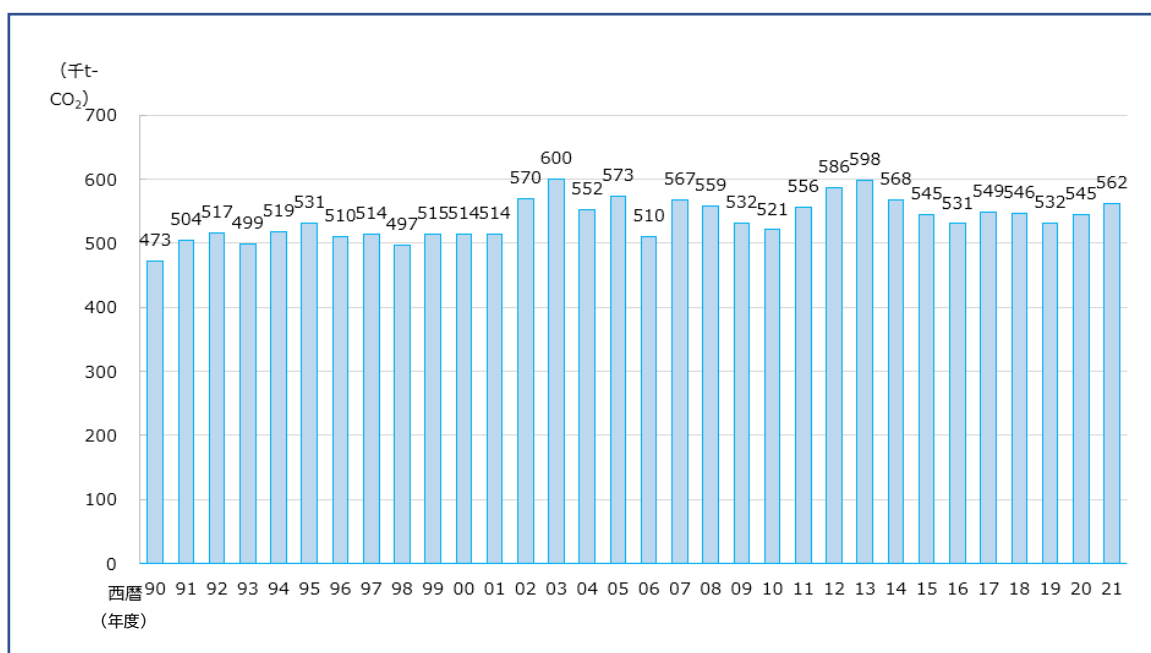
西東京市では、これまで地球温暖化防止に取り組んでおりますが、環境負荷の少ないまちを次世代につなぐため、令和4年2月にゼロカーボンシティ宣言を行うとともに、「西東京市ゼロカーボンシティガイドライン」を策定し、西東京市内で排出される温室効果ガス削減量の目標を以下のとおり新たに定めました。

- 2050年までに「温室効果ガス排出量を実質ゼロ」を目指します。
- 中間目標として、2030年度までに温室効果ガスの排出量を2013年度比（国基準年度）46%削減を目指します。

上記の目標値での削減割合は以下のとおりです。

基準年度（2013年度）排出量	2021年度排出量	中間目標（2030年度目標）	2050年目標
598 千 t-CO ₂ (A)	562 千 t-CO ₂ (B) 基準年度比 6.0% 減	323 千 t-CO ₂ (C) 2013 年度比 46%削減	温室効果ガスの実質ゼロ
		2030 年度目標までの達成率	
		13.1%達成 $(A-B) / (A-C) \times 100$	

西東京市内の温室効果ガス排出量の推移



資料：みどり東京・温暖化防止プロジェクト

基本方針2

自然環境、歴史的及び文化的環境資源の保全・創出・活用を進めます

みどりの保全・創出・活用を進めるとともに、生命に満ちあふれた自然環境を育てるために、生物多様性の保全に取り組み、自然とふれあうことができ、みどりあふれる西東京市を目指します。

また、国史跡下野谷遺跡をはじめとした市内の文化財の保存・活用を進めるとともに、社寺等の歴史的及び文化的環境資源として守られてきた貴重な自然環境も将来世代へ引き継いでいくよう努めます。

環境指標	令和5 (2023) 年度 目標	令和5 (2023) 年度 実績	前年度比 (増減率)	令和4 (2022) 年度 実績	担当課
公園・緑地の 面積	255,132 m ²	260,688 m ²	547 m ² 0.2%	260,141 m ²	みどり公園課
公園 ボランティア 数	890 人	968 人	27 人 2.9%	941 人	みどり公園課
郷土資料室の 来館者数	3,000 人	2,500 人	335 人 15.5%	2,165 人	社会教育課

令和5年度は、借地公園である下保谷第三児童遊園の買取りに伴う地積更正、開発行為に伴う芝久保四丁目第3緑地の設置のため、公園・緑地面積が増加しました。公園ボランティアは、市内の公園・緑地にて、花植え、除草、清掃等の活動を実施しています。人数は増加傾向にあります。

郷土資料室は、市内の郷土資料（考古資料・歴史資料・民具・民俗資料）を収集・保管・保存・展示するための施設です。旧石器時代の石器、縄文時代の土器、鎌倉・室町時代の板碑、江戸時代の高札、葎山笠や、元市内在勤者が制作した歴史ジオラマ 12 景などの郷土資料を5つの展示室で公開しています。常設展の他、夏休みの時期に合わせたワークショップや、企画展 1 回を実施しました。また、学校教育や生涯学習と連携し、団体見学などを受け入れました。令和5年度は、来館者数が 15.5%増加しました。

基本方針3 ごみの削減、資源の有効利用を進めます

循環型社会をさらに推進するために、市民の意識づくりや、ごみの発生抑制、再使用、再生使用を推進します。

また、ごみの発生抑制や資源化の取組に一定の成果を挙げている事業者、環境に配慮している事業者の支援や柳泉園組合におけるごみの効率的な共同処理等を進めます。

市民・事業者・市が一体となってごみの削減と資源化を推進し、環境負荷の少ない資源循環型社会の構築を目指します。

環境指標	令和5 (2023) 年度目標	令和5 (2023) 年度実績	前年度比 (増減率又は 増減幅)	令和4 (2022) 年度実績	担当課
家庭ごみ 原単位※1	347g/人・日	341g/人・日	▲12g/人・日 ▲3.4%	353g/人・日	ごみ減量 推進課
ごみ 排出量※2	31,053t/年	32,246t/年	▲721t/年 ▲2.2%	32,967t/年	ごみ減量 推進課
資源化率※3	37.1%	31.7%	▲0.7 ポイント	32.4%	ごみ減量 推進課

※1 家庭から排出される、1人1日当たりの平均ごみ量（可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ+有害ごみ）

※2 家庭から排出されるごみと、柳泉園組合へ搬入されるごみ量の合計（家庭ごみ+自己搬入可燃ごみ）

※3 一般廃棄物の総排出量に対する、回収された資源の量の割合（分別回収資源物排出量+集団回収資源物排出量）／（資源ごみ排出量+ごみ排出量）

家庭ごみ原単位（1人1日当たりのごみ排出量）は、12g/人・日の減で前年度比3.4%の減少となり、ごみ排出量は、721t/年の減で前年度比2.2%の減少となりました。

要因としては、新型コロナウイルス感染症の終息の影響が考えられ、減少傾向となりました。

資源化率は前年度と横ばいになっています。資源物では有用金属の売払いや生ごみ及び剪定枝無料回収による堆肥化を実施しており、昨年度に引き続き、生ごみ回収約300帯、剪定枝515tを回収し、資源化の推進に取り組んでいます。

人口10万人以上50万人未満の区市町村において、西東京市の1人1日当たりのごみの排出量は、令和4年度で実績全国4位となっています。

基本方針4

安全・安心で快適な生活環境の確保を進めます

安全・安心で、快適な生活環境とするために、大気や河川等のモニタリング、交通環境の充実、市内美化の推進等を継続して実施します。

また、道路の段差解消等バリアフリー化や電線類地中化を進めるとともに、マイカーに過度に頼らず移動しやすい低炭素な交通環境の実現等、子どもから高齢者まですべての世代に配慮されたまちを目指します。

環境指標	令和5（2023） 年度目標	令和5（2023） 年度実績	令和4（2022） 年度実績	担当課
大気 の環境基準※1 の達成状況	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 1/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	環境保 全課
河川の水質 の環境基準 の達成状況	環境基準以下を維持 (BOD 3mg/L 以下) (石神井川溜漕橋)	BOD 0.8mg/L	BOD 0.9mg/L	
自動車騒音 の環境基準 の達成状況	昼間 100% 夜間 100%	昼間 94% 夜間 81%	昼間 94% 夜間 88%	

※1 二酸化窒素…1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下
浮遊粒子状物質…1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下かつ、1時間値が0.20 mg/m³以下
光化学オキシダント…1時間値が0.06ppm以下

二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度は、測定地点全てで環境基準を下回り、目標を達成しています。光化学オキシダントについては、令和5年度は、注意報（0.12 ppm 以上）が3回（前年度4回）、学校情報（0.10 ppm 以上）が12回（前年度9回）発令され、環境基準を達成できませんでした。

河川の水質（BOD）の数値は0.8mg/Lとなっており、環境基準以下の維持を継続しています。

自動車騒音の環境基準の達成状況については、昼間（6時から22時）夜間（22時から翌6時）ともに目標達成できませんでした。

基本方針5

持続可能な社会の実現に向けた 環境意識の醸成・協働の仕組みづくりを進めます

環境の将来像を実現するために、市民・事業者・市のすべての人々の環境に対する意識の向上と自発的な環境保全活動への参加が重要となることから、環境に関する情報を発信し、市民や事業者が環境保全活動に参加しやすい環境を提供していきます。

また、次世代を担う子どもたちに環境教育・環境学習の場を提供するとともに、SDGs の概念の普及・啓発を行い、持続可能な社会の実現に向けた環境意識の醸成を進めます。

環境指標	令和5 (2023) 年度 目標	令和5 (2023) 年度 実績	前年度比 (増減率又は 増減幅)	令和4 (2022) 年度 実績	担当課
環境学習 事業数	140 事業 を維持	91 事業	28 事業 44.4%	63 事業	環境保全課 ほか
エコプラザ西東京環境学習講座 への参加者数	1,500 人 を維持	787 人	254 人 47.7%	533 人	環境保全課
地域での環境保全活動に参加した ことのある市民の割合	10%	—	—	8.6%※	環境保全課

※西東京市第3次環境基本計画策定に伴う市民意識調査結果より（令和4年11月実施）

環境学習事業数は、各部署で実施している参加体験型の事業やイベント等の総数です。
令和5年度は、事業数、参加者数は増加しました。

主 催	内 容
みどり公園課（4回）	みどりの散策路めぐり（4回） ①西原と多摩六都科学館コース 参加者 29 名 ②せせらぎ公園・社寺めぐりコース 参加者 34 名 ③遺跡と水のコース 参加者 20 名 ④向台・緑道コース 参加者 33 名

主 催	内 容
環境保全課(延べ52回)	エコプラザ西東京主催事業 (36 講座)

○エコプラザ西東京主催事業 36 講座の内訳

開催順

No.	内 容	参加数(人)
1	住宅側から考える～太陽光・太陽熱を利用する省エネ設備～	23
2	「がすてなーに」エコ・クッキング科学館見学親子体験ツアー	14
3	できることから始めよう！楽しみながら省エネ生活 夏編	8
4	夏休み自由研究 2023 環境漫画ポスターを描こう～プロの漫画家から学ぼう～	25
5	夏休み自由研究 2023 身近なアイテムを素敵にリメイク！～デコパージュを楽しもう～	13
6	夏休み自由研究 2023 マスキングテープでオリジナルうちわを作ろう！	29
7	夏休み自由研究 2023 竹とんぼを作ろう！	65
8	夏休み自由研究 2023 ペットボトルで作るソーラーランタン	10
9	夏休み自由研究 2023 空きびんでスノードームを作ろう！	10
10	夏休み自由研究 2023 エコあそび	31
11	夏休み自由研究 2023 おどるガイコツちゃん	27
12	夏休み自由研究 2023 魔法のステッキを作ろう！	84
13	夏休み自由研究 2023 水素エネルギーの秘密と燃料電池の仕組みを学ぼう	21
14	健康を支える発酵食品のエコで役立つ話	17
15	不要になった傘布で作る「エコバッグ」	8
16	身近なものを素敵にリメイク！～デコパージュの愉しみ～	14
17	知っておきたい！省エネ住宅～新築・リフォームのポイント～	17
18	気候変動による災害が多発！「西東京市での災害に備えてポイントを学ぶ」	5
19	郷土料理“ひつつみ汁”で食品ロスをなくそう～親子で漬物作りに挑戦～	19
20	ごみ処理場「柳泉園組合」見学会	11
21	省エネ講座～知って得する省エネ術～	9
22	第20回西東京市民まつり企画 環境フェスティバル エコ工作	56
23	第20回西東京市民まつり企画 環境フェスティバル 環境絵本の読み聞かせ	86

No.	内 容	参加数(人)
24	小さいスペースから始める花壇入門～街の緑化は我が家の花壇から～	12
25	縄文式火起こしに挑戦しよう～縄文時代から学ぶエコ生活～	5
26	残り毛糸の活用講座～無駄をなくしてごみを減らす～	35
27	野鳥観察会～初冬の渡り鳥～	15
28	スノードーム作り～親子でいっしょにクリスマス工作～	16
29	地球温暖化対策 海の森「ブルーカーボン」海洋生態系～ブルーカーボンが地球を救う～	10
30	鍋帽子作り	7
31	親子でマーマレード作りを楽しもう	18
32	ガスミュージアム親子見学会	8
33	古新聞でぞつがみばっぐを作ろう	11
34	野鳥観察会～早春の渡り鳥～	13
35	日本の伝統的な「エコバッグ」ふろしき活用講座	10
36	ごみ処理場「柳泉園組合」親子見学会	25



魔法のステッキを作ろう！



「がすてなーに」エコ・クッキング科学館見学親子体験ツアー



身近なものを素敵にリメイク！～デコパージュの愉しみ～



スノードーム作り～親子でいっしょにクリスマス工作～

主 催	内 容
公民館（延べ33回）	【田無公民館】 ①小学生親子講座 落合川の観察会と壁面水族館づくり（2回） ②SDGsロビーフェスタ田無（1回） 【芝久保公民館】 多世代交流講座 西原自然公園をみんなで観察～雑木林の再生と五感でアート～（2回） 【谷戸公民館】 ①親子で楽しむ講座 谷戸セミナーⅣ セミの羽化観察会（1回） ②農業を知る講座（24回） 【保谷駅前公民館】 環境講座 再発見！都市林・屋敷林の魅力、大切さ（3回）

共 催	内 容
公民館（延べ2回） ※市民企画事業	公民館市民企画事業 ①「緑と農のまちづくり」実施団体：「アースデネット連絡協議会」（1回） ②「さがそう！ 夏の生き物 夏休み親子自然観察会」実施団体：「西東京 自然を見つめる会」（1回）

環境フェスティバル

令和5年度の環境フェスティバルは、11月11日（土）・12日（日）に西東京いこいの森公園で行われた第20回西東京市民まつりと同時開催しました。

エコ工作、環境絵本の読み聞かせや環境関連団体のパネル展示を行い、ステージでは第2回にしとうきょう環境アワードの表彰式を行いました。



西東京市第2次環境基本計画後期計画 5年間の実績

基本方針1 温室効果ガス排出量の削減・エネルギー消費量の削減を進めます（西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編）

環境指標	温室効果ガス排出量(国準拠)		温室効果ガス排出量(都準拠)		エネルギー消費量(都準拠)	
	基準年度排出量	目標	基準年度排出量	目標	基準年度排出量	目標
	598千t-CO ₂	2030年度までに平成25(2013)年度比26%減	514千t-CO ₂	2030年度までに平成12(2000)年度比30%減	6,979TJ	2030年度までに平成12(2000)年度比38%減
	排出量	基準年度比	排出量	基準年度比	消費量	基準年度比
平成29年度	549千t-CO ₂	-8%	549千t-CO ₂	7%	5,514TJ	-21%
平成30年度	546千t-CO ₂	-9%	546千t-CO ₂	6%	5,382TJ	-23%
令和元年度	532千t-CO ₂	-11%	532千t-CO ₂	4%	5,361TJ	-23%
令和2年度	545千t-CO ₂	-9%	545千t-CO ₂	6%	5,527TJ	-21%
令和3年度	562千t-CO ₂	-6%	562千t-CO ₂	9%	5,634TJ	-19%

温室効果ガス排出量は及びエネルギー消費量は、5年間を通じ大きな増減はありませんでした。現在の温室効果ガス排出量削減の目標は、2030年度に基準年度（2013年度）比46%としており、市民、事業者、市の一層の取組が必要となります。

基本方針2 自然環境、歴史的及び文化的環境資源の保全・創出・活用を進めます

環境指標	公園・緑地の面積		公園ボランティア数		郷土資料室の来館者数	
	目標		目標		目標	
	255,132㎡		890人		3,000人	
	面積	目標との差	人数	目標との差	人数	目標との差
令和元年度	251,970㎡	-3,162㎡	827人	-63人	2,269人	-731人
令和2年度	257,853㎡	2,721㎡	845人	-45人	2,044人	-956人
令和3年度	257,853㎡	2,721㎡	926人	36人	2,236人	-764人
令和4年度	260,141㎡	5,009㎡	941人	51人	2,165人	-835人
令和5年度	260,688㎡	5,556㎡	968人	78人	2,500人	-500人

公園・緑地の面積及び公園ボランティア数は、増加傾向となりました。公園・緑地の面積は令和2年度に、公園ボランティア数は令和3年度に目標を達成することができました。

郷土資料室の来館者数は、令和2年度から令和4年度まではコロナ禍の影響もあり大きく減少しましたが、令和5年度は前年度比15.5%の増加に転じ、目標に達成することができませんでしたが、今後も来館者増が見込まれます。

基本方針3 ごみの削減、資源の有効利用を進めます

環境指標	家庭ごみ原単位		ごみ排出量		資源化率	
	目標		目標		目標	
	347g/人・日		31,053t/年		37.1%	
	家庭ごみ原単位	目標との差	ごみ排出量	目標との差	資源化率	目標との差
令和元年度	361g/人・日	14g/人・日	34,047t/年	2,994t/年	32.2%	4.9%
令和2年度	381g/人・日	34g/人・日	34,877t/年	3,824t/年	32.6%	4.5%
令和3年度	369g/人・日	22g/人・日	34,121t/年	3,068t/年	32.5%	4.6%
令和4年度	353g/人・日	6g/人・日	32,967t/年	1,914t/年	32.4%	4.7%
令和5年度	341g/人・日	-6g/人・日	32,246t/年	1,193t/年	31.7%	5.4%

家庭ごみ原単位及びごみ排出量は、コロナ禍の影響もあり、令和2年度まで増加傾向でしたが、令和3年度から減少傾向となり、家庭ごみ原単位は、目標を達成することができました。資源化率は横ばいとなり、今後も取組が必要です。

基本方針4 安全・安心で快適な生活環境の確保を進めます

環境指標	大気環境基準の達成状況	河川の水質環境基準の達成状況	自動車騒音の環境基準の達成状況
	目標	目標	目標
	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 1/1 (達成地点/測定地点)	環境基準以下を維持 (BOD 3 mg/L以下) (石神井川溜漕橋)	昼間 100% 夜間 100%
令和元年度	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1	BOD 0.9mg/L	昼間 99% 夜間 93%
令和2年度	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1	BOD 0.9mg/L	昼間 95% 夜間 85%
令和3年度	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1	BOD 0.9mg/L	昼間 100% 夜間 81%
令和4年度	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1	BOD 0.9mg/L	昼間 94% 夜間 88%
令和5年度	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1	BOD 0.8mg/L	昼間 94% 夜間 81%

大気的环境基準は、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、目標を達成することができましたが、光化学オキシダントは5年間を通じて目標を達成できませんでした。

また、河川の水質の環境基準は、5年間を通じて目標を達成することができましたが、自動車騒音の環境基準は目標を達成できませんでした。

基本方針5 持続可能な社会の実現に向けた環境意識の醸成・協働の仕組みづくりを進めます

環境指標	環境学習事業数	エコプラザ西東京環境学習講座への参加者数	地域での環境保全活動に参加したことがある市民の割合
	目標	目標	目標
	140事業を維持	1,500人を維持	10.0%
令和元年度	126事業	824人	—
令和2年度	72事業	437人	—
令和3年度	69事業	350人	—
令和4年度	63事業	533人	8.6%
令和5年度	91事業	787人	—

環境学習事業数、エコプラザ西東京環境学習講座への参加者数は、令和2年度から令和4年度まではコロナ禍の影響もあり、大きく減少しました。コロナ禍明けの令和5年度は、事業数、参加者数は増加することができましたが、目標を達成できませんでした。引き続き事業数、参加者数の増加に取り組みます。

地域での環境保全活動に参加したことがある市民の割合は、目標を達成できませんでした。引き続き、事業の広報に努め、参加を促します。

7.市の事務事業から排出される温室効果ガス削減の取組

7-1 エネルギーに関する取組状況

西東京市では、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第1項に基づく地方公共団体の事務及び事業に関する実行計画として「西東京市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定しております。

これに基づき、市も地域における事業所のひとつと捉え、率先して温室効果ガスの排出削減に取り組み、地域の温室効果ガス排出抑制に向けてリーダーシップを取ることで、ゼロカーボンシティの実現を目指します。

以下は、市の事務事業により使用されたエネルギーや廃棄物削減等の取組状況です。

① 温室効果ガス排出量（対象：全ての公共施設及び庁用車からの排出量）

	令和5年度実績値	令和4年度実績値	増減比
CO ₂ 換算総排出量	6,325,350 kg CO ₂	10,721,139 kg CO ₂	▲41.0%

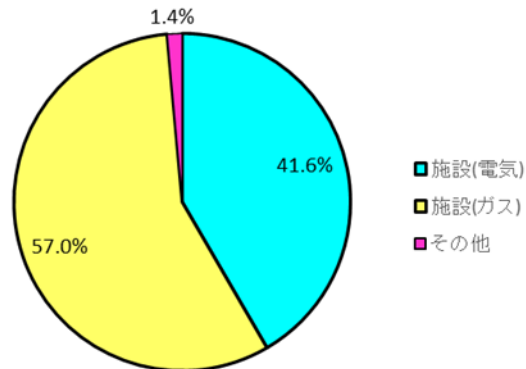
(エネルギー別内訳)

種別	令和5年度実績値	令和4年度実績値	増減比
施設	電気起源 CO ₂ 東京・北陸電力 : 2,325,658 kg-CO ₂ 新電力※: 305,817 kg-CO ₂	6,548,459 kg-CO ₂ 東京電力: 4,121,974 kg-CO ₂ 新電力 : 2,426,485 kg-CO ₂	▲59.8%
	A重油起源 CO ₂	118 kg CO ₂	18.0%
	LPG起源 CO ₂	224 kg CO ₂	▲56.6%
	都市ガス起源 CO ₂	3,602,371 kg CO ₂	▲11.7%
	灯油起源 CO ₂	1,075 kg CO ₂	1.3%
	軽油起源 CO ₂	179 kg CO ₂	44.4%
	合 計	6,235,442 kg CO ₂	▲41.3%
庁用車	ガソリン起源 CO ₂	51,579 kg CO ₂	▲1.2%
	軽油起源 CO ₂	36,827 kg CO ₂	▲5.1%
	冷媒起源 HFC	1,502 kg CO ₂	0%
	合 計	89,908 kg CO ₂	▲2.8%

※ 市が契約した新電力：NF パワースービス(株)・(株)UPDATER・デジタルグリッド(株)
(令和5年度実績)

●庁用車の電気起源 CO₂は算出不能のため未記載（施設の電気起源 CO₂に含む）

図：市の事務事業による温室効果ガス排出量内訳



■施設ごとのエネルギー使用量 ※カッコ内は前年度の数字

	電気(kWh)		都市ガス(m³)	A 重油(ℓ)	LPG(プロパンガス)(m³)	灯油(ℓ)	軽油(ℓ)
	東京・北陸電力	新電力					
市長部局	9,251,190(9,513,680)		684,804 (738,065)	43 (37)	34 (79)	430 (426)	69 (48)
	4,719,885 (6,198,712)	4,531,305 (3,314,968)					
小学校	3,923,555(3,845,718)		754,251 (759,234)	—	—	—	—
	10,899 (1,551,106)	3,912,656 (2,294,612)					
中学校	2,016,941(2,020,997)		268,951 (277,266)	—	—	—	—
	0 (683,682)	2,016,941 (1,337,315)					
教育部局	1,102,416(1,250,268)		49,248 (42,886)	—	—	—	—
	261,735 (686,320)	840,681 (563,948)					
合計	16,294,102(16,630,663)		1,757,254 (1,817,451)	43 (37)	34 (79)	430 (426)	69 (48)
	4,992,519 (9,119,820)	11,301,583 (7,510,843)					

※ 教育部局は図書館・公民館を含む。

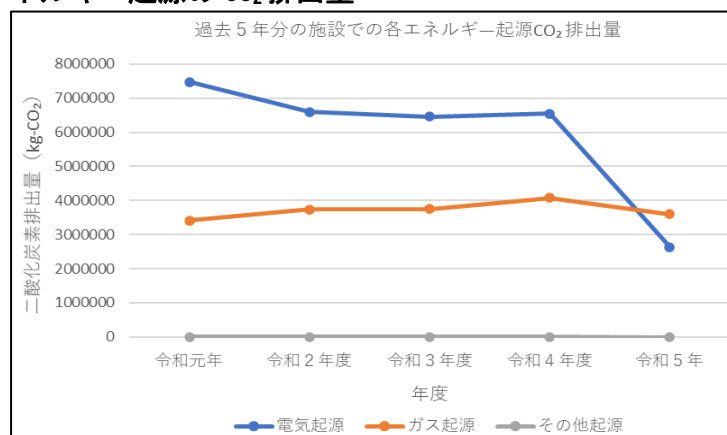
【電気に占める事業者の割合】

- ・ 東京電力エナジーパートナー 21.6%(前年度 25.5%) CO₂排出係数 0.457 kg-CO₂
- ・ 北陸電力 9.0% CO₂排出係数 0.487 kg-CO₂
- ・ 新電力 69.4%(前年度 45.2%)
 - ①NF パワースービス CO₂排出係数 0.486 kg-CO₂
 - ②UPDATER CO₂排出係数 0.151 kg-CO₂
 - ③デジタルグリッド CO₂排出係数 0 kg-CO₂ (再エネ 100%のため)

●過去5年分の温室効果ガス排出量

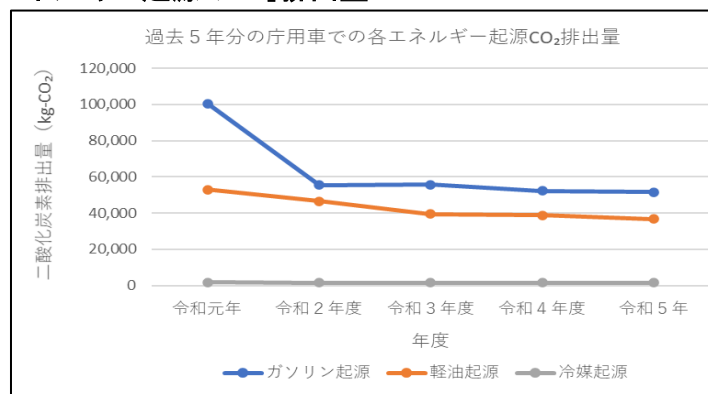
年 度	年度ごとの実績値	基準年度（2013 年度）比
令和元年度	11,045 t-CO ₂	2.5%
令和2年度	10,430 t-CO ₂	▲3.1%
令和3年度	10,300 t-CO ₂	▲4.3%
令和4年度	10,721 t-CO ₂	▲0.4%
令和5年度	6,325 t-CO ₂	▲41.3%

（エネルギー別内訳）

○施設での各エネルギー起源のCO₂排出量

電気起源について、令和2年度から令和4年度にかけてはほぼ横ばいでしたが、令和5年度では排出量が大幅に削減されました。また、ガス起源については令和元年度から令和4年度にかけては上昇傾向にあることが分かります。令和5年度については微減しました。

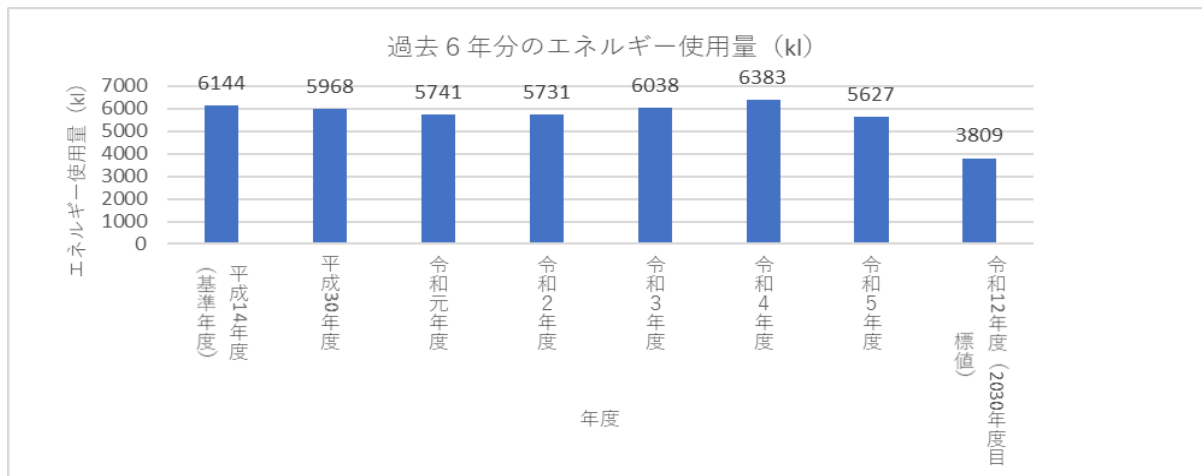
継続して減少させていくために、引き続き省エネに取り組んでいく必要があります。

○庁用車での各エネルギー起源のCO₂排出量

ガソリン起源について、令和元年度から令和2年度にかけて大幅に削減されました。これは庁舎機能の再配置に伴う建築物エネルギー消費性能基準に適合した田無第二庁舎の整備による庁舎間移動の減少や新型コロナウイルス感染拡大における事業の縮小などが原因でした。引き続き、近場移動は自転車の利用推進をしていくことや、エコドライブの推進をしていきます。

●過去6年間のエネルギー消費量

過去6年分の市事務事業からのエネルギー使用量（原油換算:kl）をグラフで示しました。



このグラフのエネルギー使用量は、毎年度経済産業省に提出をしている「省エネ法（※1）」で報告している数値です。

平成30年度から令和5年度までのエネルギー使用量を比べると、平成30年度から令和2年度にかけて及び令和5年度で大きく減少しました。

平成30年度から令和2年度にかけて減少した理由として、令和元年度から令和2年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響による公共施設の休館等があったことが大きな原因であったと考えられます。また、令和4年度から令和5年度で大きく減少した理由として、令和5年度から改正省エネ法（※2）の施行により非化石エネルギーの使用も加味されることとなったところ、本市では高圧施設の電気起源において、再生可能エネルギー（非化石エネルギー）が使用されるようになったからです。

しかし、2030年度目標値（2002年度比38%削減）と比べると、依然として乖離があるため、今後もエネルギー使用量の削減に努めていく必要があります。

- ※1 エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換に関する法律（省エネ法）は、一定規模以上の事業者がエネルギーの使用状況等について定期的に報告をし、省エネや非化石転換等に関する取組の見直しや計画の作成等を行う法律
- ※2 これまでは、石油・石炭等といった化石エネルギーの使用のみを対象とした報告でしたが、令和5年4月より改正省エネ法が施行され、非化石熱や非化石電気等といった非化石エネルギーの使用も加えて報告対象となりました

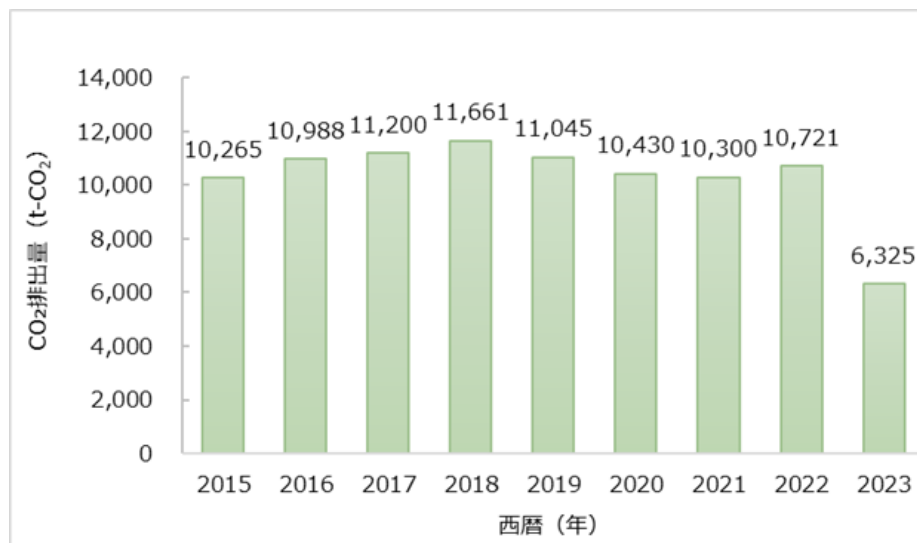
【西東京市ゼロカーボンシティガイドラインにおける目標値】

先述した「西東京市ゼロカーボンシティガイドライン」では、市が一事業者として、その事務事業から排出される温室効果ガスの削減について新たに目標を定めました。

- 2050 年までに「温室効果ガス排出量を実質ゼロ」を目指します。
- 中間目標として、2030 年度までに温室効果ガスの排出量を 2013 年度比（国基準年度）51%削減を目指します。

上記の目標値での削減割合は以下のとおりです。

基準年度（2013 年度）排出量	2023（令和5）年度排出量	中間目標（2030 年度目標）	2050 年目標
10,767t-CO ₂ （A）	6,325 t-CO ₂ （B） 基準年度比 41.3%減	5,275t-CO ₂ （C） 2013 年度比 51%削減	温室効果ガス の実質ゼロ
		2030 年度目標までの達成率	
		80.9%達成 $(A-B) / (A-C) \times 100$	



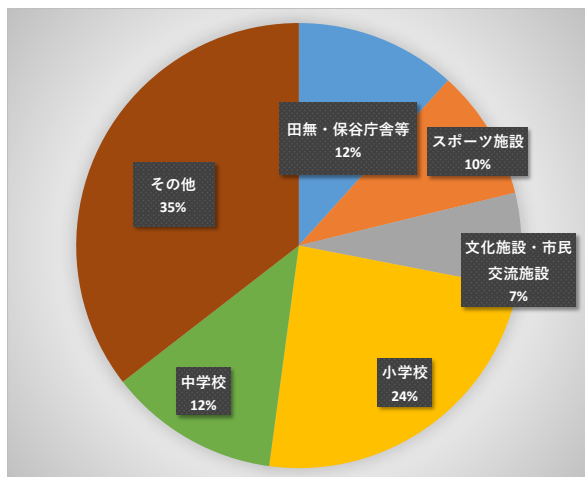
「2030 年度目標までの達成率」として、令和4年度は0.8%でしたが、令和5年度は80.9 %と急激に増加しました。

最大の要因としては、一部の公共施設で再生可能エネルギー由来の電力を使用し始めたため、電気起源の温室効果ガス排出量が減少したという点にあります。

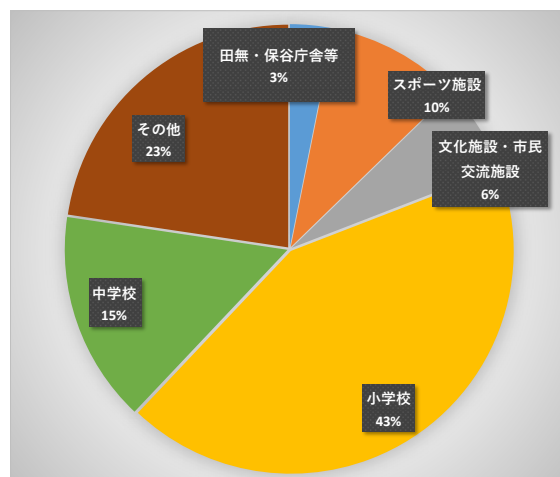
〔施設〕

施設全体の温室効果ガス排出量は、前年度比 41.0%減となりました。これは、令和5年2月より市の高圧施設が再エネ 100%の電力を活用し始めたため、温室効果ガス排出量が減少したことが大きな要因と考えられます。

施設種類毎の電気使用量の割合



施設種類毎のガス使用量の割合



電気は、上の円グラフから、小中学校の割合が約 1/3 を占めることが分かります。市長部局は、田無庁舎・保谷庁舎等、スポーツ施設、文化施設・市民交流施設の三者を合わせると施設全体の約 3 割を占めています。小中学校、スポーツ施設及び文化施設・市民交流施設は、施設数も多く稼働時間の長い施設が多くあることから設備更新の際には、エネルギー効率の高い空調設備やLED照明を積極的に取り入れていくことが、更なる電気使用量の抑制のため、重要な取組となります。

電気事業者について、昨年度に引き続き、東京・北陸電力を使用した施設はありますが、高圧施設において、東京電力パワーグリッドから再エネ 100%である新電力の会社に取り替わりました。再エネ 100%は温室効果ガス排出係数がゼロであるため、温室効果ガス排出量を抑えられます。

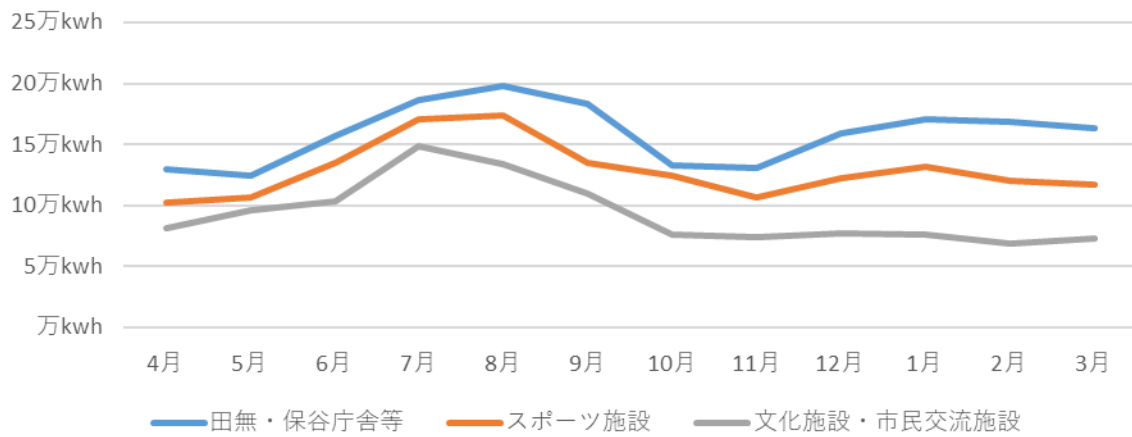
都市ガスは、昨年度より温室効果ガス排出量が 11.7%減少しています。特に4月分の小中学校の使用量が減少しています。これは、前年度に比べて気候が温暖で過ごしやすく、ガス空調を使用する機会が少なかったことが理由として挙げられます。

A重油は、使用は田無庁舎の自家発電用途だけになります。

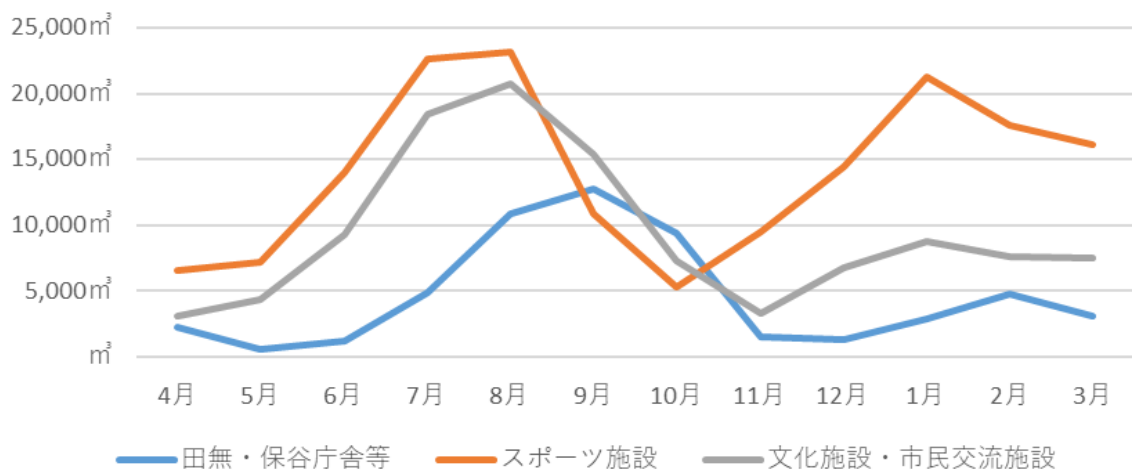
LPGは、学童クラブと消防団詰所の一部で使用されています。

灯油・軽油は、それぞれ防災センター・保谷保健福祉総合センター、東分庁舎の非常用発電に用いられ、通常は試運転程度の使用で、温室効果ガス総排出量削減に大きな影響を与えるものではありません。

施設種類ごとの月別電気使用量



施設種類ごとの月別ガス使用量



〔庁用車〕

令和5年度は、車両数に増減はなく、105台（令和5年度末現在で貸与車を除く。）を稼働させています。

ガソリン起源CO₂排出量は、前年度比1.2%減となりました。

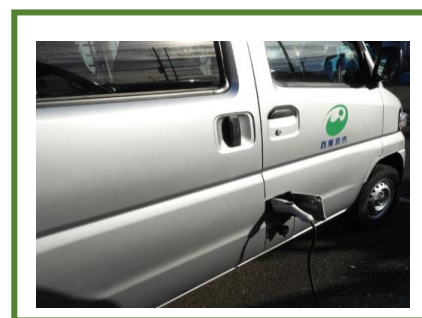
また、軽油起源CO₂排出量は、前年度比5.1%減となりました。

耐用年数の経過した庁用車を環境に配慮した自動車へ転換することで、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

また、エコドライブによる燃費の良い運転を心がけています。

*1 プラグインハイブリッド（PHV）とは、電気自動車（EV）とハイブリッド自動車（HV）の機能を持ち合わせたクルマで、電気モーターだけで走らせることができますが、ガソリンを使ったエンジンでも走行できるため、電池切れの心配がなく長距離運転も安心です。

*2 HVは、通常ガソリンエンジンで走りますが、走り出すときなどに電気モーターを補助的に使用します。環境にやさしいクルマの中で、現在最も普及しています。



燃料種類	台数
ガソリン	64 (64)
軽油	30 (30)
電気	8 (8)
PHV*1 (HV*2を含む)	3 (3)
合計	105 (105)

カッコ内は前年度の台数

7-2 その他資源の削減・資源循環の取組状況

① 水道使用量（対象：小・中学校を含む全公共施設の上水道使用量）

令和5年度実績値	令和4年度実績値	前年度比
323,755 m ³	315,826 m ³	2.5%増

水道使用量は前年度と比較し、2.5%増となり、庁舎で1.4%減、小学校・中学校で4.8%増となっています。

庁舎などの公共施設では、節水の協力を呼びかけています。また、学校ではプール等では適正な水の利用を心がけています。

■施設ごとの水道使用量

施設所管	上水 (m³)
市長部局	107,377 (110,305)
教育部局	8,332 (7,013)
小学校	166,165 (157,717)
中学校	41,881 (40,791)
合計	323,755 (315,826)

※カッコ内は前年度の使用量



② 廃棄物排出量（対象：小・中学校を含む全公共施設）※不燃ごみは容器プラスチックを含む。

種別	令和5年度実績値	令和4年度実績値	前年度比
可燃ごみ	423,530 kg	417,000 kg	1.6%
不燃ごみ※	29,930 kg (内プラスチックごみ： 6,320 kg)	29,310 kg (内プラスチックごみ： 6,670 kg)	2.1% (内プラスチックごみ： ▲5.2%)

公共施設から排出される可燃ごみ、不燃ごみは、職員（正規職員、会計年度任用職員）数の増により、増加したと考えられます。ただし、職員一人あたりの排出量は前年度より減少しており、職員のごみ削減の意識向上が伺えます。

今後も無駄が出ないように事業に取り組み、会議等でのペーパーレス化、廃棄物が出た際は、リサイクルやリユースに取り組んで、ごみの分別を心がけていきます。



③ コピー用紙購入量（田無庁舎・保谷庁舎）

令和5年度実績値	令和4年度実績値	前年度比
10,718,500 枚	11,710,000 枚	▲8.5%

庁内のコピー用紙は、古紙配合率の高いもので白色度の高くないものを選択しています。日常業務では、両面コピーや裏紙利用の徹底、電子決裁率の向上、電子データで共有する等、紙の使用削減に取り組めます。



④ 封筒使用数（会計課で把握している封筒の持出量）

種別	令和5年度実績値	令和4年度実績値	前年度比
角2	19,400 枚	28,800 枚	▲32.6%
長3	87,200 枚	86,200 枚	1.2%

不要になった封筒は、庁内文書交換便の袋として再使用しています。令和5年度については、角2封筒の使用は前年度より減少しましたが、長3封筒の使用は微増しました。



⑤ グリーン購入率（対象：小・中学校を除く全課・全施設）

対象	令和5年度実績値	令和4年度実績値
市長部局	81.5%	83.6%
教育部局	94.8%	91.2%

各課・各施設においては、物品等を購入する際は「西東京市環境物品等の調達ガイドライン」、10月に改訂を行った「西東京市グリーン購入ガイドライン」で確認し、集計表等でグリーン購入率を管理しています。引き続き、庁内掲示板等を通じ、グリーン購入の促進を周知し、更なるグリーン購入率の向上を目指します。

8.市の環境に関する取組

各課・公共施設の取組から特徴的な環境活動を紹介します。

8-1 エネルギーに関する取組

★省エネルギーの推進

令和5年度は、以下の公共施設で設備工事、**賃貸借**を行い、省エネ機器の改修、省エネ設備、LED照明器具の導入を行いました。

西東京市公共施設(20施設:併設施設含む)LED照明賃貸借

ひばりが丘福祉会館空調設備改修工事

保谷柳沢児童館体育室天井張替工事

なかまち保育園空調設備改修工事

田無第一中学校ほか3校体育館トイレ改修工事

イングビル改修工事

など

★再生可能エネルギー設備の導入推進

公共施設における再生可能エネルギー導入実績

令和5年度末現在

太陽光発電設備 19箇所

太陽熱給湯設備 5箇所

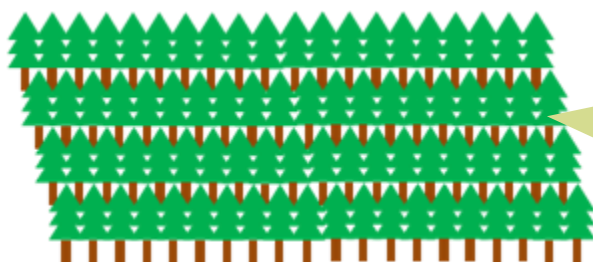
★再生可能エネルギー由来の電力調達の推進

公共施設の電力供給を受ける契約において、「西東京市電力調達に係る環境配慮方針」に基づき、公共施設のうち高圧施設(49施設)において再エネ電力への切り替えを行っております。再エネ100%の電力は、CO₂排出係数は0となります。

★LED照明器具の半額助成を実施

環境保全課

環境にできるだけ負荷を与えないまちづくりを目指し、平成28年度から助成事業を実施しています。令和5年度には297件(工事:91件、購入:206件)の助成を行いました。その結果、45,984kg-CO₂の二酸化炭素(杉の木約3,285本の吸収分)を削減できました。(助成額合計2,858,000円)



LEDへの取換えて
二酸化炭素 45,984kg-CO₂
(前年度 36,374kg-CO₂)
削減!

★地球温暖化対策助成金事業を実施

環境保全課

市内から排出される二酸化炭素の約5割が家庭部門からの排出となります。

このため、市では省エネ型のアエアコン・冷蔵庫に買換えをする市民の方々に対し、その経費の一部を助成しました。

助成件数 3,750 件

助成額合計 102,537,000 円

二酸化炭素削減量（推計） 352,804kg - CO₂



★公園の灯具をLED灯具に取換え

みどり公園課

LED公園灯について、既存公園の設置（取換え）を実施しました。

★街路灯の灯具をLED化

道路課

都内初となるESCO事業を活用し、市内全域の街路灯をLED化しています。令和5年度は新たにLED街路灯25基を設置しました。これにより、環境負荷の低減及び光熱費等の効果的な削減を図っています。



8-2 廃棄物の減量、リサイクルの取組

★フードドライブの実施

環境保全課・ごみ減量推進課

西東京市社会福祉法人連絡会が行っているフードドライブ事業に協力し、エコプラザ西東京などで食品の受入れを行いました。

また、市主催によるフードドライブも令和5年度は2回実施しました。期間中に集めた食品は、食の支援が必要な方に配付しました。

その結果、626kg-CO₂の二酸化炭素を削減できました。

※食品ロスに係るCO₂排出原単位 0.46t-CO₂/t（「食品ロス削減関係参考資料（消費者庁教育推進課）」）として算出



★食品ロスの削減

危機管理課【賞味期限の近い災害備蓄食料を学校給食や市民団体主催の防災訓練等に積極的に活用し、入替に伴う処分量を削減】

提供内容（提供先・箱数）

市民団体（21 団体）：71 箱

訓練等（2 件）：5 箱

小・中学校給食（19 校）：368 箱

フードドライブ：20 箱

期限の近い災害備蓄品を提供（消費）することで、処分量を減らせると同時に、防災意識の向上が図れました。

また、それ以外で発生した災害備蓄食料についても、フードドライブに提供することでさらに処分量を減らすことができました。

今後も庁内外問わず様々なイベント等で提供していただくよう、庁内掲示板等で広報していくと同時に、他の活用方法についても検討していきます。

★工事での環境物品(エコセメント等)の使用の徹底 道路課

二次製品のコンクリートとして、可燃ごみを焼却してできた灰を再利用した「エコセメント」があり、地面ブロック等の用途に使われています。このエコセメントを、全ての対象工事において使用しております。

エコセメントを用いたコンクリート二次製品：約 55,450kg

★古紙類の資源化促進

ごみ減量推進課【ざつがみばっぐの無償配布等】

令和5年度配布枚数 ざつがみばっぐ 2,820 枚（前年度 2,730 枚）

古紙類の資源化の促進を図るため、障害者自立支援に係る雇用により、新聞を活用した「ざつがみばっぐ」を作成し、田無庁舎、エコプラザ西東京において無料配布を行いました。

紙袋を使った分別排出し易い方法により、一層のごみの減量化と資源化を推進しました。



★ごみ分別アプリの活用

ごみ減量推進課

【ダウンロード数(累計)令和5年度 58,616 件】

平成 25 年度にリリースしたごみ分別アプリを活用して、ごみの減量や排出マナーの向上を目指しています。周知を行うことで、利用者は年々増加しています。

参考： 令和3年度 44,000 件

令和4年度 51,495 件



★エコキャップ回収

幼児教育・保育課（ひがし保育園・ひばりが丘保育園）

園児、保護者、地域の利用者、職員に呼びかけ回収し、保護者や地域への啓発にも繋がりました。

スポーツ振興課

施設内で購入した飲料水の空ペットボトルを、分別して捨てる際のキャップを回収するため、ペットボトル回収 BOX の横にエコキャップ用の容器を配置しています。



★紙の再利用の取組

幼児教育・保育課（保育園）

梱包材として使用されている紙やカタログや広告は、切って折り紙として再利用したり、制作時の台紙に使用した後、拭き掃除などに再利用したりしています。



★不要タオルの再利用

幼児教育・保育課（保育園）

不要タオルを足ふきマット、雑巾等に再利用しています。その後更に汚物処理等に使用してから廃棄します。



★エコに関する事業の開催（主なもの）

児童青少年課（児童館、学童クラブ）

- ・牛乳パックを活用した万華鏡の作成【ひばりが丘北児童センター】
- ・新聞紙を活用した紙吹雪の作成【ひばりが丘北児童センター】
- ・緩衝材を使った幼児活動でのお弁当づくり【新町児童館】
- ・ガムテープの芯で作った起き上がりこぼし【新町児童館】（写真中央）
- ・牛乳パックを活用したエコ工作（フィンガーブーメラン）【田無児童館】（写真右）
- ・牛乳パックをビニールテープの下敷きに活用して壁面工作（幼児活動）【田無児童館】
- ・ペットボトルキャップを活用したフィギュア作り【田無学童クラブ】
- ・ペットボトルを活用しボーリングを実施【田無第三学童クラブ】
- ・幼児活動で新聞紙を活用したエコバッグ作成【芝久保児童館】
- ・ペットボトルを使った幼児遊具【芝久保児童館】
- ・空き箱を活用したエコ工作（芝久保学童クラブ【芝久保児童館】）
- ・空き箱や使用済み包装紙を活用したエコ工作の実施【上向台学童クラブ】
- ・古毛糸を利用した帽子マスコットの手芸【芝久保第二学童クラブ】
- ・牛乳パック パッチンがえる【北原児童館】
- ・ペットボトル（小）のジェルボール玩具【北原児童館】
- ・ペットボトルキャップで幼児のおもちゃを作成【田無柳沢児童センター】
- ・牛乳パックでクリスマスブーツのバッグを作成【田無柳沢児童センター】
- ・廃材を活用した自由工作「親子で自然派工作隊」【保谷柳沢児童館】
- ・空きペットボトルを活用した工作【保谷柳沢児童館】
- ・牛乳パックを活用したバック作り【保谷柳沢児童館】
- ・間食で出た空き箱や、トイレトペーパーを活用した日頃の工作【保谷柳沢学童クラブ】
- ・段ボールや空き箱を使って自由工作を行った。【保谷柳沢第二学童クラブ】
- ・空き瓶を使用しスノードームを作った。【保谷柳沢第二学童クラブ】
- ・西原自然公園に落ちていた枝等を材料として使用したバードコール工作バードコール工作【西原北児童館】（写真左）



★リユース祭りの開催

環境保全課

再利用可能な不要品を無料で譲り合うリユース活動を目的に、11月5日（日）にエコプラザ西東京で「リユース祭り」を開催し、多くの方が来場しました。



8-3 みどりの保全・創出の取組

★公園、緑地の活用

みどり公園課

・緑地保全地区の活用

下保谷四丁目特別緑地保全地区では、令和5年度は4回の一般開放イベントを実施しました。

○合計来場者 1,400人



・西原自然公園の植生・管理

西原自然公園植生管理計画に基づき、植生管理委託で26本伐採した。市民団体と協働して開催しているイベントなどを通して保全を図っていきます。

★小規模公園・緑地活用と地域管理の推進

みどり公園課

ちいさな公園ヘルシーウォークラリーの実施に際しては、コースの途中にあるカフェやパン屋等も紹介し、楽しみながら歩くことができるように工夫を行いました。



★緑と花の沿道推進事業

みどり公園課

宅地と道路との接道部の緑化を推進するとともに、併せてブロック塀等の倒壊による災害の発生を防止することを目的に、道路沿いに新たに生垣や花壇の造成、フェンスの緑化、それらに伴う既存のブロック塀、万年塀等を撤去しようとする方へ必要な経費の一部を補助しました。

令和5年度実績

助成件数 1件 造成延長 4.0m

★植物・野菜の育成

幼児教育・保育課（保育園）

園庭の畑やプランターで、野菜を育て、収穫した野菜を目に見える形で調理し、提供しました。玄関先等にも花を植えることで園内の緑化が進み、二酸化炭素削減や温度調節になることも学んでいます。



★生産緑地地区の指定

都市計画課

生産緑地地区として市内の農地等を保全することにより、良好な都市環境の形成が図られます。生産緑地地区は、環境保全、景観形成、生物多様性の保全だけでなく、避難所としての役割など多様な機能を有しています。

- ・ 令和5年度 生産緑地地区指定状況：278地区（約100.72ha）
- ・ 令和5年度 特定生産緑地指定状況：238地区（約76.00ha）

★道路の植栽帯の確保

道路課

市内における緑の創出のため、東京都苗木生産供給事業を活用し、市道における道路植栽帯の補植をしています。

8-4 環境教育・環境学習の取組

★園児に対する環境意識の向上

環境保全課

保育園での出前講座の実施

環境保全課の職員が、保育園5歳児クラス10園に赴き、地球温暖化の話をスライドや寸劇などでわかりやすく伝えました。また、ゼロカーボンリーフレット（飛び出す絵本）を園児に配付しました。



幼児教育・保育課

パッカー車の見学などを通して子どもたちのゴミの減量やリサイクルへの関心が高まりました。

また、保護者向けのお便りや掲示をすることで、家庭内でも環境の話ができ、更に理解が深まり、啓発にもつながりました。



★児童に対する環境意識の向上

環境保全課

小学校出前講座の実施

環境保全課の職員が、市内小学校2校に赴き、地球温暖化の仕組み、異常気象の影響、私たちが今できることを伝えました。また、小学生5年生に環境カレンダーを配付しました。



8-5 その他の取組

★第2回にしとうきょう環境アワード

環境保全課

にしとうきょう環境アワードは、脱炭素社会につながる環境にやさしい行動に取り組むまちづくりを進めるため、積極的で優れた環境活動を行う個人・団体・学校・事業者の方を表彰するものです。

令和5年11月12日に開催した西東京市民まつりで表彰式を行い、受賞団体には市長から表彰状が授与されました。

斬新な取組に対して今後の拡がりを期待して授与する企画賞には、田無第一中学校 IJ 学級が受賞いたしました。

●表彰団体 14 団体

株式会社エネスパート	MeC西東京
東京第一友の会南沢方面	ごみ資源化市民会議
公益社団法人 西東京市シルバー人材センター	学校法人 日本文華学園 文華女子高等学校
栄小学校 6年生	谷戸小学校
向台小学校 環境委員会	保谷小学校
柳沢中学校 花いっぱい花壇プロジェクト	保谷中学校 ボランティア部
田無第一中学校 生活委員会	田無第一中学校 IJ 学級

(敬称略)



●受賞者の活動の一部を紹介します

○田無第一中学校 IJ 学級（企画賞）
タマネギの皮の草木染めや学校の伐採木のキーホルダーと鉛筆立てを作成することで、廃棄する物であっても使い方次第では資源になることを学び、資源の有効利用について考える態度を養いました。

○東京第一友の会南沢方面（奨励賞）
西東京市の環境、エコ、ごみの減量化に関する講座を開催しています。残った毛糸を活用し、作品を作り各種施設に寄付をしています。西東京市の環境講座の講師を務め、市民に広く環境に関する情報を提供しています。

○株式会社エネスパート（奨励賞）
地球温暖化防止のため、省エネ家電機器（省エネエアコン、LED）、節ガス設備機器（エコジョーズ）、節水設備など地域に環境によい製品を積極的に提案しています。令和4年度は交換機器の約80%を省エネ設備機器に取り換えを行いました。

○日本文華学園 文華女子高等学校
(奨励賞)
市職員及びボランティア団体と協働で、西原自然公園の下草刈りを行っています。例年、多くの学生が参加し、公園の自然環境の維持・管理に携わっており、緑の保全及び緑化の推進に大きく貢献する活動を行っています。

※他の受賞者の紹介は、市ホームページに掲載しています。

[トップページ](#)>[くらし・手続き](#)>[環境](#)>[環境に関する取り組み](#)>[市の取り組み](#)>
[にしとうきょう環境アワード](#)>[第2回にしとうきょう環境アワードの表彰式](#)を行いました。

★にしとうきょう環境チャレンジ

環境保全課

にしとうきょう環境チャレンジが8月から始まります！

西東京市では、2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、昨年2月25日に「西東京市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

脱炭素社会の実現に向けて、市民の皆様一人ひとりに環境にやさしい行動を実践していただけるよう取組みを推進します。





西東京市公式 LINE から参加！

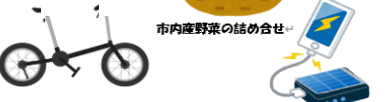
にしとうきょう環境チャレンジ

あらかじめ設定された“環境配慮行動”に取り組むとポイントが付与され、貯めたポイント数に応じた賞品が当たる抽選に参加できます！

※詳細は市報8月1日号をご確認ください。



市内産野菜の詰め合せ



折りたたみ自転車
ソーラーモバイルバッテリー

賞品例

参加者が環境配慮行動を行える協力店舗も絶賛募集中！

詳しくはコチラ！





参加者が環境配慮行動を行える協力店舗も絶賛募集中！

詳しくはコチラ！



にしとうきょう環境チャレンジ

西東京市では、2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、昨年2月25日に「西東京市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

脱炭素社会の実現に向けて、市民の皆様一人ひとりに環境にやさしい行動を実践していただけるよう取組みを推進します。





西東京市公式 LINE から参加！

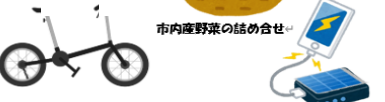
にしとうきょう環境チャレンジ

あらかじめ設定された“環境配慮行動”に取り組むとポイントが付与され、貯めたポイント数に応じた賞品が当たる抽選に参加できます！

※詳細は市報8月1日号をご確認ください。



市内産野菜の詰め合せ



折りたたみ自転車
ソーラーモバイルバッテリー

賞品例

参加者が環境配慮行動を行える協力店舗も絶賛募集中！

詳しくはコチラ！





参加者が環境配慮行動を行える協力店舗も絶賛募集中！

詳しくはコチラ！



にしとうきょう環境チャレンジ

西東京市では、2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、昨年2月25日に「西東京市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

脱炭素社会の実現に向けて、市民の皆様一人ひとりに環境にやさしい行動を実践していただけるよう取組みを推進します。





西東京市公式 LINE から参加！

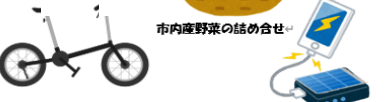
にしとうきょう環境チャレンジ

あらかじめ設定された“環境配慮行動”に取り組むとポイントが付与され、貯めたポイント数に応じた賞品が当たる抽選に参加できます！

※詳細は市報8月1日号をご確認ください。



市内産野菜の詰め合せ



折りたたみ自転車
ソーラーモバイルバッテリー

賞品例

参加者が環境配慮行動を行える協力店舗も絶賛募集中！

詳しくはコチラ！





参加者が環境配慮行動を行える協力店舗も絶賛募集中！

詳しくはコチラ！



にしとうきょう環境チャレンジ

西東京市では、2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、昨年2月25日に「西東京市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

脱炭素社会の実現に向けて、市民の皆様一人ひとりに環境にやさしい行動を実践していただけるよう取組みを推進します。





西東京市公式 LINE から参加！

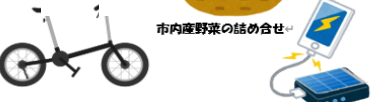
にしとうきょう環境チャレンジ

あらかじめ設定された“環境配慮行動”に取り組むとポイントが付与され、貯めたポイント数に応じた賞品が当たる抽選に参加できます！

※詳細は市報8月1日号をご確認ください。



市内産野菜の詰め合せ



折りたたみ自転車
ソーラーモバイルバッテリー

賞品例

参加者が環境配慮行動を行える協力店舗も絶賛募集中！

詳しくはコチラ！





参加者が環境配慮行動を行える協力店舗も絶賛募集中！

詳しくはコチラ！



にしとうきょう環境チャレンジ

西東京市では、2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、昨年2月25日に「西東京市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

脱炭素社会の実現に向けて、市民の皆様一人ひとりに環境にやさしい行動を実践していただけるよう取組みを推進します。

にしとうきょう環境チャレンジとは、あらかじめ設定された環境に配慮した行動をするとポイントが獲得でき、ポイント数に応じた賞品が当たる抽選に参加できる事業です。

令和4年度は紙のポイントカードでしたが、令和5年度は西東京市公式LINEアプリに変更し、参加者1,120人、賞品応募数177人、全賞品132枠中128人が当選しました。

★農業振興、地産地消に向けた取組の推進

産業振興課

・農のアカデミー体験実習農園事業

60 回実施

都市農地貸借円滑化法を活用し、農地を借りて「農のアカデミー体験実習農園」で事業を行っています。小学校、幼稚園、保育園の6団体の受け入れをして、延べ1,102人参加しました。



・めぐみちゃん農産物等販売会（マルシェ）

地産地消を目的としためぐみちゃんメニュー事業の一環として、農産物の販売及び農産物を使った加工品を販売するマルシェを開催しました。



①いこいの森公園：

出店事業者：6事業者（農業者5、商業者1）

②下保谷四丁目特別緑地保全地区

出店事業者：9事業者（農業者7、商業者2）

★第17回縄文の森の秋まつり

社会教育課

下野谷遺跡の周知を目的とし、史跡整備地「したのや縄文の里」を活用し、専門家による下野谷遺跡から出土した遺物等の解説、縄文時代に関連した手芸や体験、実演の場を設け、約1,300名の来場者を記録しました。歴史的・文化的環境資源としての遺跡について学ぶとともに、自然と共存した縄文人の知恵を知ることで環境学習につなげました。



★雨水浸透施設設置に対する助成事業の推進

下水道課

住宅の屋根に降った雨を地下へ浸透させることにより雨水の流出を抑制し、これにより地下水のかん養及び潤いのあるまちづくりに寄与します。

令和5年度助成実績 5件 691,930 円

★工事での透水性舗装の採用 道路課

歩道透水性舗装 約 590 m²

透水性舗装は、雨水のかん養につながるとともに、空隙が大きく蓄熱性が小さいことから、夏場是一般のアスファルト舗装よりも表面温度が低くなります。よって、ヒートアイランド現象の緩和にも効果があります。

★eLTAX（エルタックス）

市民税課 【電子申告・電子申請の利用を推進し、税務事務の効率化を推進】

法人市民税 5,431 件 （対前年度（5,429 件）比 0.04%増）

個人市民税 184,208 件 （対前年度（178,638 件）比 3.1%増）

法人市民税の申告書について、毎月市内事業所への申告等案内の中で電子申告利用PRを行っています。個人市民税については、新年度（令和6年度）より電子通知が開始する影響もあり利用率の向上に繋がりました。

★固定資産税の減額

資産税課 【省エネ改修の促進及び認定長期優良住宅の普及により、廃棄物、CO₂の排出抑制を図る。】

①省エネ改修 6 件（前年度 10 件）

②認定長期優良住宅 132 件（前年度 175 件）

省エネ改修を年3回、認定長期優良住宅を年1回市報に掲載、ホームページには常時案内を掲載しています。内容の問い合わせは継続的にあり、今後も普及活動に努めます。

（※1）省エネ改修とは、窓、床、天井及び壁の断熱性を高める工事をいう。

（※2）認定長期優良住宅とは、長期優良住宅の普及の促進に関する法律（平成20年法律第87号）の規定に基づき、耐久性・安全性等の住宅性能が一定基準を満たすものとして認定を受けた住宅をいいます。

★ペイジー口座振替登録

納税課 【ペイジー口座振替登録促進による資源の削減】

ペイジー口座振替受付件数 令和5年度 469 件（前年度 397 件）

当初納付書へ口座振替依頼書、ペイジー案内書を同封したことにより資源の軽減に繋がりました。今後についても、キャッシュレス決済などの納付方法と併せて、納税推進活動の工夫等により口座振替の推進に努めます。

★合成洗剤削減への取組

令和6年2月末現在

「手洗い・食器用洗剤」は合成洗剤ではなく石けんとし、全庁的に切替に取り組んでいます。

以下は、切替が終了した施設です。

- ・田無庁舎/保谷庁舎
- ・出張所 2施設
- ・市民交流施設 23 施設
- ・図書館 6館
- ・田無総合福祉センター
- ・住吉会館ルピナス
- ・タクトホームこもれび GRAFARE ホール
- ・西原総合教育施設
- ・J:COM コール田無
- ・消費者センター分館
- ・福祉会館等 5施設
- ・障害者総合支援センター(フレンドリー)
- ・スポーツ施設 3施設
- ・西東京いこいの森公園

以下の施設については、合成洗剤も使用しています。

- ・保谷障害者福祉センター
（手洗い用・食器洗い用）…石けん（洗濯用）…合成洗剤
- ・保育園(15 園)
石けん（手洗い用）…15 園（食器洗い用）…11 園（洗濯用）…13 園
合成洗剤（食器洗い用）…4園（洗濯用）…4園（食器洗浄機用）…15 園
- ・児童館・学童クラブ(47 施設)
石けん（手洗い用）… 47 施設（食器洗い用）…39 施設（洗濯用）…39 施設
合成洗剤（食器洗い用）…8施設（洗濯用）…8施設
- ・エコプラザ西東京
石けん（手洗い用・食器洗い用） 合成洗剤（洗濯用）
- ・公民館(6館)
石けん（手洗い用）…6館（食器洗い用）…6館（洗濯用）…3館
合成洗剤（洗濯用）…4館
- ・小学校(18 校)
石けん（児童手洗い用）…18 校（食器洗い用）…18 校（洗濯用）…17 校
（児童手洗い用家庭科室）…18 校（食器洗い用家庭科室）…18 校
合成洗剤（洗濯用）…1校
- ・中学校(9校)
石けん（生徒手洗い用）…9校（洗濯用）…8校
（生徒手洗い用家庭科室）…9校（食器洗い用家庭科室）…9校
合成洗剤（洗濯用）…1校

8-6 職員研修

時間的制約を受けず、職場の端末で効果的に行うことができるeラーニングプログラムによる環境に関する選択問題形式の研修を、市職員を対象に実施しました。職場で実践できる省エネのポイントや環境マネジメントシステムの知識理解等の問題が出題され、1,677人（会計年度任用職員含む。）の職員が受講しました。

8-7 環境コミュニケーション

西東京市で行った大気や騒音等の環境調査の結果を、ホームページや事務報告書等で公表しています。

令和5年度までの過去5ヵ年において、市域にて発生した住民からの環境苦情は以下のとおりです。苦情の件数は年度によって変動はあるものの、概ね横ばいとなっています。建設・解体工事等に関する騒音や、野焼きなどによるばい煙（大気）等の苦情が多く寄せられています。良好な生活環境の確保のためにも、適切な指導を行っていきます。

過去5ヵ年の環境苦情受付件数

現象別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大気	7	19	16	14	22
水質	0	0	0	0	0
騒音	45	52	39	25	25
振動	5	4	9	21	4
悪臭	21	13	12	5	4
土壌	0	0	0	0	0
その他	4	3	2	1	1
合計	82	91	78	66	56

8-9 環境法規制等の遵守状況

西東京市の各事業活動において、環境関連の法規違反及び訴訟、異常事態の発生等はありませんでした。

9.市長による全体評価及び取組

1 全体の評価

西東京市第2次環境基本計画後期計画では、15の環境指標中、「公園・緑地の面積」、「公園ボランティア数」、「家庭ごみ原単位」、「河川の水質の環境基準」の4つの目標を達成した。

特に、2050年脱炭素社会の実現に向けては、環境指標のうち前年度から微増となっている「温室効果ガス排出量」及び「エネルギー消費量」について、削減するための「省エネルギーの推進」及び「再生可能エネルギーの活用」に関する施策・取組を強化されたい。

また、温室効果ガス排出の削減には、市民・事業者の「環境配慮行動の実践」が重要である。普及啓発事業では、エコプラザ西東京における「環境講座」、「にしとうきょう環境チャレンジ」、「にしとうきょう環境アワード」、保育園・小学校での「出前講座」、「環境カレンダー」の配布、「環境フェスティバル」などを実施している。引き続き、創意工夫を重ねた環境意識の啓発に努め、環境配慮行動を促進させる必要がある。

令和5年度における市の事務事業から排出する温室効果ガス排出量は、田無庁舎をはじめとする公共施設の照明器具をLED照明に更新したことによる省エネルギーや、一部公共施設で100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替えたことにより大幅に削減することができた。更なる温室効果ガス削減のため、日頃の業務において、職員一人ひとりが脱炭素社会の実現に強い意識を持って、環境に配慮した行動に取り組まれたい。

令和6年度からは、西東京市第3次環境基本計画の下で、新たな環境指標を設定したことから、良好な環境を将来の世代に引き継ぐために引き続き目標達成に努められたい。

2 今後の取組

「西東京市第3次環境基本計画」及び「西東京市第三次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を踏まえ、以下の取組を推進すること。

- (1) 地球温暖化対策は、市民・事業者との協働が必要であることから、環境フェスティバルをはじめとするイベントによる情報発信、にしとうきょう環境アワードや、にしとうきょう環境チャレンジなどの普及啓発事業に注力すること。

- (2) 市域の温室効果ガスを削減するためには、家庭・事業者から排出される二酸化炭素の削減が重要であることから、ニーズを踏まえた削減効果の高い支援策を検討すること。
- (3) 保育園、幼稚園、小学校での出前講座の実施など、子どもたちに環境の大切さを理解してもらう環境教育を充実させること。
- (4) 地球温暖化による気候変動による自然災害や健康被害に対する対策を進めると。
- (5) 資源循環型社会の構築に向け、ごみ排出抑制、再利用、再生利用など、4 Rの推進に取り組むこと。
- (6) 二酸化炭素の吸収源となる、みどりの保全・創出に努めること。
- (7) 市の事務事業から排出される温室効果ガスを削減させるため、「西東京市公共施設環境配慮指針」に基づいた省エネルギー型機器の導入等や、再生可能エネルギー由来の電力の調達などに努めること。
- (8) 地球温暖化による気候変動の影響及びその対策についての認識を深めるため、職員研修を行うこと。

西東京市環境白書・環境活動レポート

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）

発行：西東京市 令和7年3月

編集：西東京市みどり環境部環境保全課

〒202-0011

東京都西東京市泉町3-12-35 エコプラザ西東京

TEL：042-438-4042（直通）

FAX：042-438-1762